

信州大学出前講座

『農村の持続的な 地域資源活用』

日時 令和8年11月13日（金）
午後2時00分開始 **【入場無料】**
場所 麻績村地域交流センター
講師 信州大学農学部 農学生命科学科
准教授 内川 義行 氏

第7回 麻績学級



【内川 義行(うちかわ よしゆき)氏の紹介】

信州大学准教授。景観にも配慮した棚田の保全と整備計画および中山間地域の土地利用計画(山地酪農等)、農山村の災害対応、非農家農村住民の家庭菜園による暮らしづくりなどを研究課題としている。農業農村工学会、農村計画学会、棚田学会に所属し、長野県農地中間管理事業評価委員会委員長や長野県土地利用審査会委員などの委員としても活躍している。農業農村工学会優秀論文賞や農業農村工学会優秀論文賞などを受賞。

農山村の多くは、農地の耕作放棄や林地の手入れ不足が増え、人口減少や高齢化による地域社会の担い手喪失が悪循環構造となり、存続の危機にさらされています。こうした中、地球環境への負荷にも配慮しつつ、持続的な地域資源活用による活性化策が求められています。地域資源の基本的考え方やその保全、整備および活用手法を紹介・解説します。

事前の申し込みは不要ですので、お気軽に当日会場へお越しください。
多くの皆さまのご参加お待ちしております。

お問い合わせ先

麻績村麻3836番地 麻績村地域交流センター内
麻績村公民館 電話0263-67-2240